

令和4年11月8日
東京都医師会 定例記者会見

COVID-19 第8波に備えて 高齢者施設の立場から

- # 1 都内の老健施設の（第7波）調査結果
- # 2 中和抗体検査の活用

東京都医師会（自宅療養・高齢者施設担当）

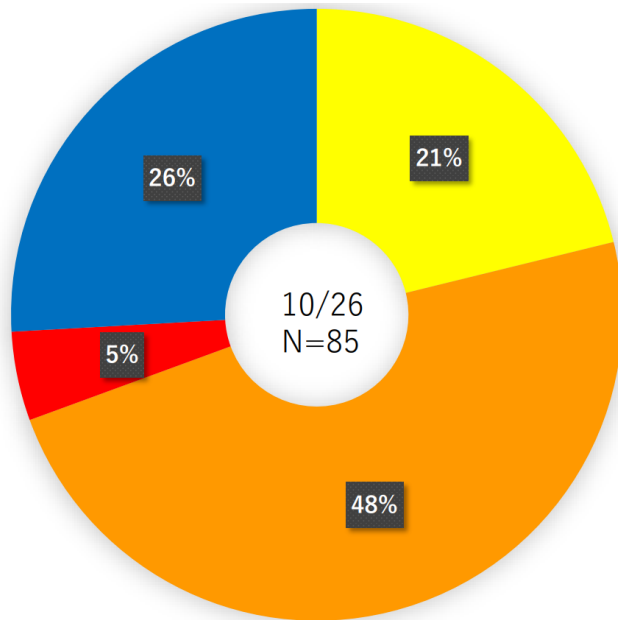
副会長 平川 博之

理事 西田 伸一

理事 土谷 明男

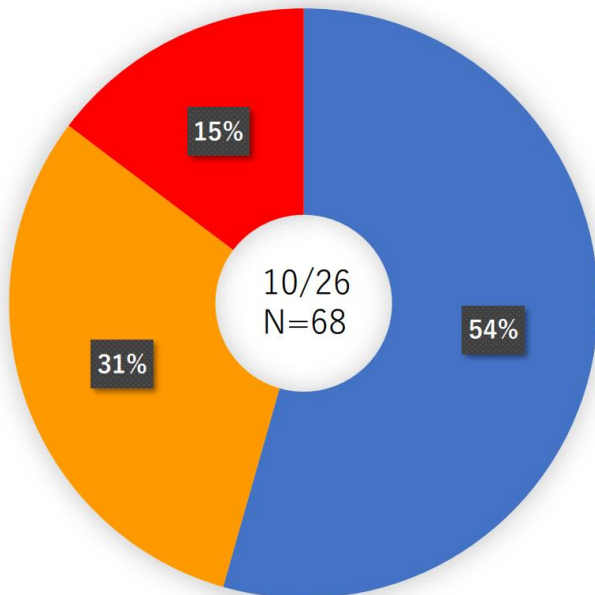
理事 佐々木 聡

入所者の感染状況



- 1人～4人感染した
- クラスターになった
- メガクラスターになった
- 感染はなかった

重症者



- いない
- 1人～2人いる
- 3人以上いる

入所感染者の死亡

転院先で亡くなった方がいる

8

入所中に亡くなった方がいる

6

いない

45

0 10 20 30 40 50

10/26 N=58

亡くなられた方への処置等について

転院先で亡くなったので何ともいえない

8

転院先がなく施設内で全力を尽くしたが悪化し
転院後に亡くなったため何ともいえない

1

転院先がなく十分な処置ができなかった

1

全力を尽くせたと思う

3

施設内で全力を尽くしたが、急速に悪化した

4

家族が看取りを希望

1

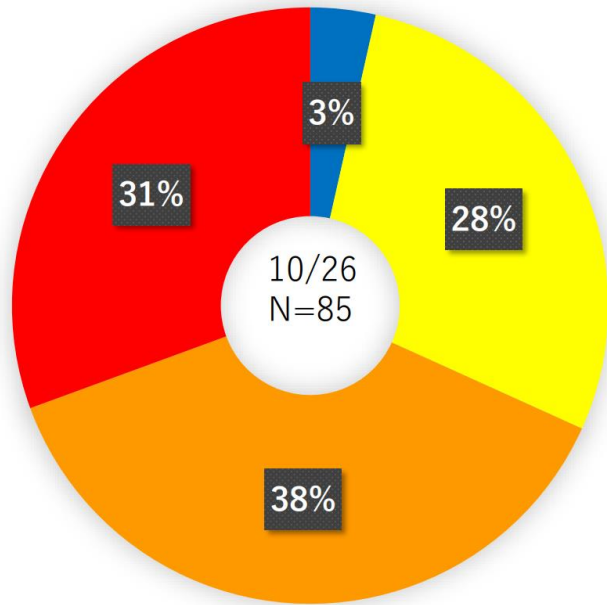
家族の気持ちを考えると明確な言葉が浮かばない

1

0 1 2 3 4 5 6 7 8

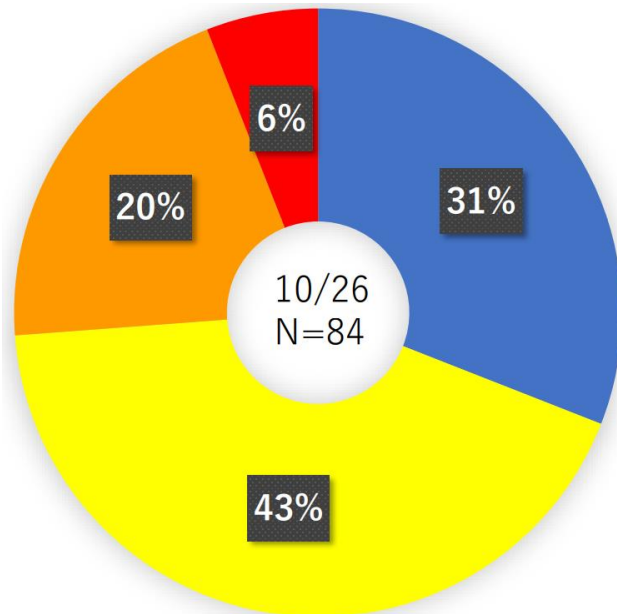
10/26 N=58

入所担当職員の感染 (7月～現在までの合計)



- 感染はなかった
- 1人～4人感染した
- 10人以上感染した
- 5人～9人感染した

通所担当職員の感染 (7月～現在までの合計)



- 感染はなかった
- 1人～2人感染した
- 3人～4人感染した
- 5人以上感染した

感染経路

職員からの感染

50

新規入所者からの感染

3

ショートステイ利用者からの感染

1

出入り業者等からの感染

1

感染経路不明

21

その他

3

10/26 N=64

0 10 20 30 40 50 60

第7波で感染が発生した施設での気づきや反省点

感染を完全に防ぐ事は難しいと感じる

59

職員の感染対策意識の更なる向上

44

職員の感染防止および感染対策の知識と技術を向上させる研修

43

ゾーニングの知識と訓練

39

構造上完全なゾーニングは困難

29

換気の知識と対策

33

感染対策用の備品(マスク、消毒液、フェイスシールド等)の備蓄

20

その他

3

5

0 10 20 30 40 50 60 70

都内の老健施設の（第7波）調査結果から

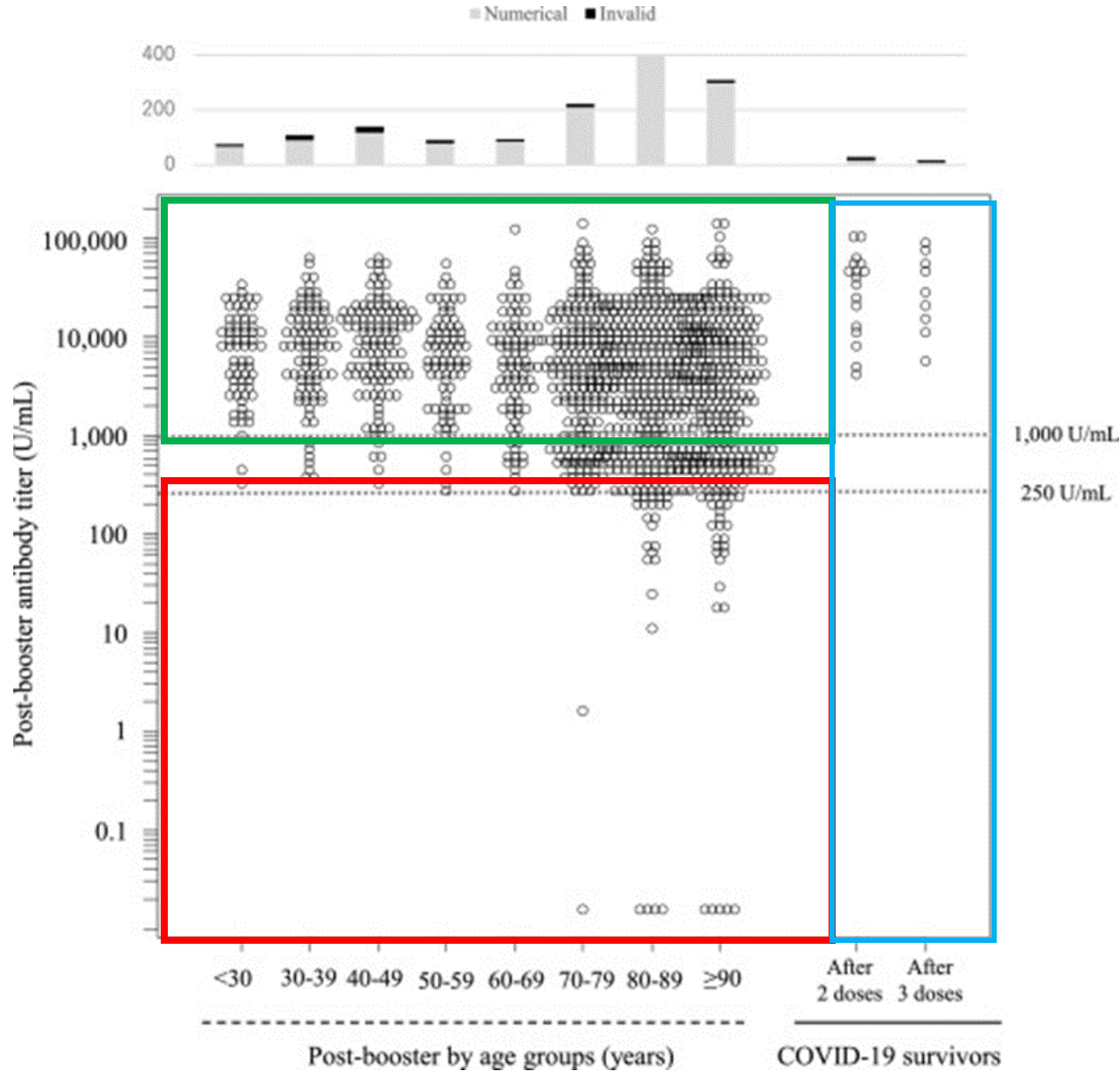
1. 第7波では3/4の施設で入所者の感染発生を認めた。
一方97%の施設で職員の感染者を認めた。
2. 感染発生施設の半数以上がクラスター、メガクラスター化した。
3. 感染者の半数以上は軽症で重症者は少なかった。
重症者を3人以上認めたのは15%程度だった。
4. 感染発生した施設の2割に死亡者を認めた。
5. 感染経路は職員からが最も多く、次いで経路不明であった。
6. 85%以上の施設が感染を完全に防ぐ事は難しいと回答している。

高齢者施設の第8波対策として中和体検査の活用

- ワクチン接種が進み、多くの年齢層で重症化の懸念は低下してきた。一方、変異により感染性が高まり、感染者の増大が顕著になった。
- 現行ワクチンは、発症、重症化、死亡予防効果が明らかであり、感染者の一定数に生じる後遺症予防効果も確認されている。
- 高齢者がワクチン接種をしてもハイリスクであるのは免疫反応の減弱、免疫の老化によると考えられる。
- ワクチン接種により高齢者の多くは65歳以下と同等の中和抗体量が認められる。一方、6-10%の集団に低値の抗体量を示す所謂ワクチン不応答性者が存在する。
- ワクチン不応答者を予め把握しておくことは、リスクの高い高齢者が多数居住している施設にとっては、現段階で限られた感染症予防対策(換気、マスク、迅速抗原検査、手洗い)ではカバーできない、感染後の経過を予見できる方法と考えられる。
- 入院、重症化、死亡リスクのある感染者を早期に判別できれば医療逼迫低減にも寄与すると考える。

◎ **感染防御に必要な抗体価、重症化や死亡に影響する抗体価等のエビデンスを得るためにも中和抗体検査の普及が必要。**

高齢者におけるワクチン接種効果の検証



年齢別抗体価(3回接種後1か月)

- 多くの高齢者は3回目接種後、50歳以下の成人と同様の抗体価を保持している（緑枠）。
- 3回目接種後、各施設にて10%程度、抗体価上昇が低い、若しくはほぼ皆無な集団が高齢者に認められた（赤枠）。
- 死亡を伴うクラスター発生後の介護施設における回復者（青枠）には、低抗体価の入所者は存在しなかった。

◎ 高齢者の10%においてワクチンによる免疫獲得が成立せず、重症化の危険性がある集団がいることを見出した。